

国語

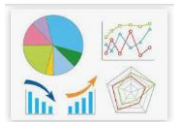


- ・平均正答率は、大阪府及び全国の平均値を上回っている。
- ・話すこと、聞くこと、書くことについての正答率は、全国平均を大きく上回っている。
- ・表現の効果を考えることや、登場人物の相互関係について複数の描写を基に捉えるところに課題が見られる。

今後の対策

- ・文章を推敲する段階で、推敲する観点を示し、互いに読み合い、他者の文章のよいところを見つけるだけでなく、自分の文章のよいところも見つけられるようにする。そうして、表現の効果や文章構成などを意識して書く力を育てる。

わくわく問題



- ・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
- ・図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題や、興味・関心のあることがらについて、意欲的に工夫して相手に伝える問題の正答率が高い。

今後の対策

- ・自分で考えたことを伝える力がついてきているので、「理由や根拠を明確にして伝える」場を今後も設定し、さらに力を伸ばしていく。

算数



- ・平均正答率は、全国及び大阪府の平均値を上回っている。
- ・百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める問題や図形を構成する要素に着目して長方形の意味や性質、構成の仕方について考える問題の正答率がとくに高い。
- ・二つの数の最小公倍数を求めたり、目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ったりすることにやや課題が見られる。

今後の対策

- ・通分が必要な分数のたし算ひき算の出題を定期的に行い、最小公倍数を活用する場面を増やす。
- ・実際に自分達でデータをとるところから始まる学習を通じて、目的に応じたグラフを作成する場を設定し、データの収集、分類、考察する力を育てる。

理科



- ・平均正答率は、大阪府の平均値とほぼ同じで 全国の平均値をやや下回っている。
- ・「生命」を柱とする領域の問題は、大阪府及び全国の平均値を上回っている。
- ・実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題に課題が見られる。

今後の対策

- ・実験を行う際、方法を検討したり、問題から予想や仮説を発想したりする場を今後も設定していく。
- ・資料から結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、それをもとに自分の考えを言葉で表現できるようにする。

アンケートから 「全体的に肯定的な意見が多かった」



- ・学校に行くのは、楽しいと感じている児童が多い。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりしている児童が多い。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している児童が多い。
- ・人が困っているときは、進んで助けている児童が多い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。
- ・自分には、よいところがある。先生は、あなたのよいところを認めていると感じている児童が多い。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる児童が多い。



- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことをきちんと守っている児童がやや少ない。

